

教科（科目）	日本史B	単位数	4単位	2学年（特進クラス）
使用教科書	山川出版社「詳説 日本史」			
副教材等	第一学習社「最新日本史図表 二訂版」・山川出版社「詳説 日本史テスト」			

## 1 学習目標

我が国の歴史の展開を、世界史的な視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会を主体的に生きる日本人としての資質を養う。

## 2 指導の重点

- ① 歴史を考察する基本的な方法を理解させるとともに、歴史への関心を高め、歴史的な見方や考え方を身に付けることを目指します。
- ② 基本的な事柄を歴史の流れの中で捉えることができる事を目指します。

## 3 指導計画

月	単元名・学習内容	指導内容	時間	評価方法
4	第I部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり 2 農耕社会の成立 3 古墳とヤマト政権	農耕社会の発達と金属器の使用により生まれた階級社会の歴史的意義を、縄文文化と対比しながら理解させる。 6世紀にヤマト政権が国の内外から揺らいでいく過程を理解させる。	10	まとめプリント提出
5	第2章 律令国家の形成 1 飛鳥の朝廷 2 律令国家への道 3 平城京の時代 4 天平文化 5 平安王朝の形成	蘇我氏滅亡の後、天皇を頂点とする中央集権の律令国家が成立したことを理解させる。しかし、その一方で、政界の動揺や班田制が行き詰まりをみせていたことを理解させる。	14	まとめプリント提出 1学期中間考査
6	第3章 貴族政治と国風文化 1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士 第II部 中世 第4章 中世社会の成立 1 院政と平氏の台頭 2 鎌倉幕府の成立 3 武士の社会	律令政治の修正・強化にもかかわらず、成果があがらなかったことを理解する。 摂関政治が私的性格を強めていたことに注目させる。荘園の成立過程、内部構造、その変遷などを、具体的事例によって指導する。 武士の成長が、摂関政治による政治の緩みと関連している事を理解させる。 鎌倉幕府の政治機構を律令体制下のものと対比して、特色について理解する。 承久の乱の意義について理解する。	14	まとめプリント提出
7	4 蒙古襲来と鎌倉幕府の衰退 5 鎌倉文化 第5章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立	元寇については、広く世界史的視野から捉えさせるとともに、幕府動揺・滅亡の原因を、社会構造の変化や経済の進展など総合的にとらえさせる。 鎌倉新仏教が歴史上に占める意義を明らかにする。 建武の新政が失敗した理由を、歴史の流れに即して考察させる。	8	1学期期末考査

8 9	2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場 第Ⅲ部 近世 第6章 幕藩体制の確立 1 織豊政権 2 桃山文化	士一揆続発の理由を考えさせる。下剋上の風潮のもと、応仁の乱によって、群雄争覇の時代が訪れたことを理解させる。 鉄砲・キリスト教の伝来については、世界史的な視点で理解させる。 織豊政権の諸施策が、どんな点で近世封建社会への布石となったか理解させる。	1 4	
1 0	3 幕藩体制の成立 4 幕藩社会の構造 第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化	江戸幕府の成立過程をふまえ、幕府の政治組織・経済的基盤などを理解させる。海禁政策については、ヨーロッパ諸国の動向に触れながら理解させる。 武断政治から文治政治への幕政の方向転換が、どのような条件のもとでなされたか、その背景を明らかにする。 諸産業の発展について、各分野ではなく結びついて発展していった事をイメージさせる。	1 6	2学期中間テスト
1 1	第8章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化 第Ⅳ部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱	農村や都市の変容を背景に、幕藩体制が動揺する中、幕府や藩が行った改革と意義、影響を考察する。 洋学や国学の確立と幕藩体制の動揺とを関連づけて理解する。 開国と幕藩体制の崩壊を内外情勢の具体的な動きの中で理解させる。	1 2	まとめプリント提出
1 2	2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係	明治維新の歴史的意義を理解させる。 自由民権運動の推移、政府の態度と憲法制定にいたる経緯を理解させる。 日露開戦に至る国際関係及び、戦後の日本の国際的な地位の変化について考察する。	8	2学期期末テスト
1	5 近代産業の発展 6 近代文化の発達 第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民生活の変容と大衆文化 4 恐慌の時代	日本の産業革命、近代産業の発展について考察する。 近代文化の二元性について理解する。 第一次大戦が及ぼした影響について、経済や政党内閣の成立と関連づけて理解する。 国際協調体制の進展と日本の動向について関連づけて理解する。 戦後恐慌から昭和恐慌への国内経済の動揺とその対策について考察する。	1 2	まとめプリント提出
2	5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦 第11章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	軍部の政治進出に着目して、政党内閣の崩壊と国際的孤立の過程を考察する。 全体主義的な国家体制の進展について考察する。 戦後の民主化政策と諸改革について、理解する。 東アジア情勢の変化と日本の独立について関連づけて理解する。	1 0	学年末テスト

3	第12章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ 第13章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦終結と日本社会の変容	独立後の政治体制について、55年体制について理解すると共に、その後の保守政権の成立への過程について考察する。 朝鮮特需をきっかけとする経済復興とその後の高度経済成長について考察する。 冷戦体制の終結と国内状況について、多面的に捉える。 現代日本の課題について、理解する。	10	近・現代代史 まとめプリント提出
---	---	--	----	---------------------

計128時間(55分授業)

#### 4 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
我が国の文化と伝統の特色について関心をもち、国民としての自覚と国際社会を主体的に生きるための自覚を深めようとしている。	我が国の歴史の展開を、広く世界史的視野に立って総合的に考察し、最新の調査結果や諸説を紹介しながら、歴史的思考力をもとに公正に判断できる。	歴史における資料の特性とその活用及び文化財保護の意義について身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現できている。	日本の歴史の基本的知識を理解させ、日本人としての在り方生き方にかかわる事柄や学び方を理解し、その知識を身につけようとしている。

以上の観点を踏まえ、

- ・ 授業の取り組み (授業態度、発言の様子、学習活動への参加状況など)
  - ・ ノートなどの提出状況や内容
  - ・ 定期テスト
  - ・ 小テスト など
- 以上から、総合的に評価します。

#### 5 担当者からの一言

「過去に目を閉ざす者は、現在に盲目となる。」—これは、ヴァイツゼッカー元ドイツ大統領の言葉です。なぜ歴史を学ぶのかという問いに対して、何らかのヒントを教えてくれているように思います。あなたの通学路にある地名は、どうしてそのような名がついているのでしょうか。なぜ、現在、政治家の靖国神社の参拝に対して、諸外国から批判が沸き起こるのでしょうか。日本はどんな歴史を歩んできたのかを学ぶことで、ひょっとしたら見えてくるものがあるかもしれません。